

保護者 各位

岡山県立岡山支援学校
校長 佐藤 一法

令和2年度学校評価保護者アンケートについて

時下、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素から本校教育にご支援とご理解を賜り厚く感謝いたします。

さて、10月に実施いたしました学校評価アンケートでは、全校の75.4%の方からご回答をいただきました。誠にありがとうございました。いただいたご意見を今後の児童生徒の教育活動や学校経営の参考とさせていただきます。なお、後日、本校ホームページにも掲載する予定です。

1 児童生徒一人一人の個性や特性を大切にされた教育内容の工夫・充実に関する評価 単位%

評価内容	A	B	C	D
①お子様は、学校に行くのを（授業を）楽しみにしている。	84.8	15.2	0	0
②学校は、小・中・高・卒業後まで見通した教育活動を行っている。	77.5	18.8	2.5	1.3
③お子様は、個に応じた目標のもとで、指導・支援を受けながら学習している。	81.3	17.5	0	1.3
④学校は、お子様の学習について分かりやすく評価している。	75.0	23.8	0	1.3
⑤お子様は、特別支援教育についての知識・技能を持つ教職員から指導・支援を受けている。	69.6	27.8	1.3	1.3
⑥学校は、学校からの便り（学年通信・進路だよりなど）・ホームページなどで、学校の様子ができるようにしている。	67.1	30.4	2.5	0

2 児童生徒の自立と社会参加を目指した教育の推進に関する評価

評価内容	A	B	C	D
⑦学校は、お子様のニーズに応じた進路に関わる情報を提供し、相談活動を行っている。	67.9	21.8	6.4	3.8
⑧学校は、校外の様々な分野の方や公共の施設などを利用して教育活動を行っている。	57.3	21.3	17.3	4.0
⑨学校は、学んだことを家庭生活や地域生活で生かせるような教育活動を行っている。	52.6	35.9	7.7	3.8

3 児童生徒が健康で安全な学校生活を送るための教育と教育環境の充実に関する評価

評価内容	A	B	C	D
⑩学校は、病気やけがなどの時の対応を適切にしている。	76.3	22.5	0	1.3
⑪学校は、安全で安心な環境を整えている。	75.9	22.8	0	1.3
⑫学校は、災害に備えた取り組みを行っている。	75.3	23.4	1.3	0
⑬学校は、いじめの早期発見・防止に努め、一人一人の人権を尊重した指導・支援を行っている。	75.9	20.3	2.5	1.3

4 特別支援教育のセンター的機能の充実に関する評価

評価内容	A	B	C	D
⑭学校は、お子様のことについて、医療や福祉等関係機関と連携を図りながら指導している。	69.6	24.1	5.1	1.3

裏面へ

いくつか記述意見をいただいています。今回の記述意見は7番の進路に関するもの、8番の校外の資源等の活用に関するものが多くありました。それについて、次のようにお答えします。

進路に関するご意見として

- ・小学部なので先生と話をすることがなく、必要性がない。
- ・中学部なので話せていない。情報が無い。
- ・居住地と学校の所在地が違うので参考にならない。

☞進路に関する情報として、1年間に8回程度「進路だより」を発行しています。進路だよりでは、事業所等の紹介のほか、高等部の産業現場等の実習やその後の実習報告会の様子などをお伝えしています。また各種の福祉制度の紹介も行っています。一方コーディネーターからは、「支援室だより」を年間6回程度発行し、その中で、各地の自立支援協議会等の様子やキャリア教育について紹介しています。進路は、高等部卒業後の「行き先」を決定することだけではなく、現在とそして現在からつながるこれからの生活を考えることだと思います。懇談等で遠慮なく担任とお話をさせていただきますようお願いいたします。

お住まいの地域で事情が異なることもあり、ご紹介する内容と合わないことがあるかも知れませんが、福祉制度の多くはほぼ共通していると思われまます。この点につきましても、遠慮なく担任とお話をさせていただきますようお願いいたします。

校外の資源等の活用に関するご意見として

- ・新型コロナウイルス感染症防止のためとは言え、何らかのことは行うべきではないか。
- ・リモートやネットを利用したらどうか。
- ・本校を含め、「校外の様々な分野の方や公共の施設」でどのような活動がされているか。

☞1学期は全く校外に出かけることや来ていただくことはできませんでした。2学期以降に中学部と高等部はそれぞれ管弦楽の演奏会を開催しました。小学部は2月に「お話いっぱい」を開催し、外部の方をお呼びする予定です。また、本校児童生徒の作品をJR東岡山駅や高島公民館に展示中です。ぜひご覧ください。

交流および共同学習では、直接学校間の交流ができなかったため、リモート交流会や年賀状の交流を実施しました。小中学部の居住地校交流でも、リモート交流を行いました。

活動内容ですが、本校ではこれまでに、近隣の農家の方から黄ニラ栽培、魚屋さんからは魚をさばいて切り身になるまでの実演、障害のある方で企業等に就労をされている方からはリモートを通して、仕事や就労に関する助言等を受けました。また消費生活センター職員からは、契約等についてのお話をいただきました。これらはすべて授業の一環で行っているものです。公共の施設での活動では、社会見学等でJRの利用（切符の購入含め）、食事場所での店員とのやり取り（注文や支払い）、店舗での購入時のやり取り、大学で学生との交流や学生食堂で昼食をとるなどがあります。社会に出て必要な様々なことを経験することができます。

その他のご意見

- ・教科の指導について

☞一人一人に応じて指導をしています。児童生徒の状況によっては、教科書の通りではなく、わかりやすい方法で指導を行っています。いつでもご相談ください。

- ・家庭や地域生活で生かせることは？

☞お子様の年齢等によって異なるでしょうが、教科の学習で学んだこと以外に、睡眠・食事・排泄、着替え時の協力姿勢をとるなど生活面も含めたことも当てはまると思います。

- ・災害時の対応について

☞年間を通して避難訓練を実施し、移動に制約のある児童生徒が安全に避難できるよう努めています。また旭川荘には、寄宿舎生の夜間の緊急時避難先としてご協力いただいています。